

令和5年度 第2回 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

開催日時	令和5年11月21日(火) 午後2時～午後3時	
開催場所	西尾市役所会議棟 第4会議室	
出席者	<b>【会長】</b>	
	日本福祉大学	千頭 聡
	<b>【副会長】</b>	
	NPO 法人やらまいか人まちサポート	牧野 明広
	<b>【審議会委員】</b>	
	西三河農業協同組合	黒野 善久
	西尾市観光協会	乾 浩泰
	連合愛知三河中地域協議会 西尾地区連絡会	小林 英明
	株式会社キャッチネットワーク	天野 栄
	西尾商工会議所中小企業相談所	蜂谷 佳夫
	西尾信用金庫	縦山 幸彦
矢田つぼみ保育園	黒木 洋子	
<b>【事務局】</b>		
総合政策部秘書政策課	課長	大野 修司
総合政策部秘書政策課	主任主査	杉浦 祐嗣
総合政策部秘書政策課	主査	都築 典恵
<b>【事業説明のため出席】</b>		
市民病院事務部管理課	主査	岩瀬 伸一郎
欠席者	<b>【審議会委員】</b>	
	西三河漁業協同組合	黒田 哲也
傍聴者	1名	
内容	<p>1 あいさつ 秘書政策課長よりあいさつ</p> <p>2 議題 会長である千頭委員の進行で議題に入る。</p> <p>「第2期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しについて」</p> <p>事務局より、見直し内容について全体を説明したあと、新規に総合戦略に記載する事業として「市民病院経営強化プラン」を追加する市民病院管理課より内容を説明。</p> <p>〈委員からの主な意見〉</p> <p><b>【小林委員】</b> 強化プランには5つの方針があるが、今後の具体的な計画は。</p> <p><b>【市民病院管理課】</b> 令和6年4月から訪問介護ステーションを立ち上げるほか、デジタルの関係、医師、看護師の確保に力を入れていく。医師の確保は、最優先事項として、市長にも大学へ訪問してもらっている。</p>	

**【縦山委員】**

医師の確保にあたり、奨学金制度はあるのか。

**【市民病院管理課】**

あります。実際に奨学金制度を利用して、現在、勤務している医師もいます。

**【千頭委員】**

PR活動について補足があれば教えてほしい。

**【市民病院管理課】**

PR動画を、YouTube にアップロードしている。薬剤師、看護師の採用で利用している。

**【牧野委員】**

中期計画の委員をしていた時、医師が少ないのが課題であった。今は、医師も新しく入っており、先端医療機器も入ったということで課題が改善されてきたと思う。市民病院が古い施設のため、市民からみると近隣の新しい施設のほうがいいという声もあるが、居心地がいい、そういったところも改善できるといいと感じている。

**【市民病院管理課】**

医師の離職率は課題としてある。施設としては、来年度からLED化に取り組む。先端技術の医療機器もあるので、そのような利便性をアピールしていきたい。

**【牧野委員】**

市民病院への交通手段が改善されると行きやすいという声がある。豊田市では既存の自動車学校と協力して、高齢者の送迎を行っている。企業・事業者とうまくタイアップすると、市民病院への利用が増えるのではないかと考えている。

**【千頭委員】**

交通網の話はどうか。

**【事務局】**

市民が市民病院に行く方法を知ってもらわないといけない。市民病院に限らず、どうやったら目的地へ行けるのか、その交通手段について市民一人一人が自分で考えていかないといけない。

**【乾委員】**

市民病院への交通手段をどうやって知ってもらうか。市のLINEを使うことできないか。

**【事務局】**

情報発信はできる。LINEだけでなく、そういったものをうまく使っていきたい。ただ、行政らしからぬ何かをやらないと見てもらえない、次のステップにいかないと分析している。

**【黒木委員】**

お年寄りのかたは広報を案外見ている。そういったもので分かりやすくするといい。保育園で入院とか医療になると市民病院ではだめだったから安城更生病院になったという話を聞くので、そういったところを改善できるといいかと思う。

**【市民病院管理課】**

今年度については、お断りの件数は減ってきており、だいぶ良くなってきている。

**【黒野委員】**

医師不足、看護師不足について、現実どれくらい少ないのか。

**【市民病院管理課】**

経営強化プランのなかで医師は9名増やしたいと考えている。特に泌尿器科の医師がいない。泌尿器科の医師がいたときは、収益が上がっていた。そういった医師の足りないところで増やしたい。

看護師は、夜勤明けをやっていただける看護師が不足している。患者1に対して看護師7人、この体制を維持するための人員確保が急務になっている。

**【天野委員】**

全体を通して、安全・安心な部分を丁寧な修正になっている。市民のかたが見られるとより安心されると感じている。

**【千頭委員】**

17ページの結婚支援と子育て応援給付金について、婚活について、他の市町で聞くのは常連ばかり来ているという話を聞くが、パーティーをするだけでなく新しい何かを行うのか？

**【事務局】**

人口減少問題は市として対応していかないといけないと考えている。自治体が生き残りを考えるには、企業誘致で仕事を増やして人を増やすというやり方のほか、今後、多文化共生など外国人に対応していかないといけない。

また、人口を増やすためには、未婚・晩婚化対策をやっていかないといけない。今は、パーティーではなく、マッチングアプリということで、マッチングアプリの事業者と協定を結んで、今後、事業者と一緒にあって出逢いの創出を市として力を入れていきたい。

**【千頭委員】**

卒業生が結婚の報告に来てくれるが、どうやって知り合ったかを聞くと、かなりの割合でアプリというので、定着してきている。

給付金の話について、給付金が増えたから、少子化対策になるかどうかの確認をどうやってやるのか、世界の先進国のなかで少子高齢化が劇的に回復した国がフランス。フランスは、生まれてきた子は婚姻関係なく、子どもはまったく平等の権利を認める。それを行ったら出生率が2を超えた。日本でやるのは極めて難しいが、給付金だけでは難しい、当事者も含めて広く議論していかないといけない。

**【樺山委員】**

人口減少について住宅が建つ環境が絶対条件になる。区画整理、工場移転の跡地をうまく活用してほしい。

**【牧野委員】**

矢田小学校の児童数が1,000人を超えているが、来年度は1,000人を切るという話を聞いた。また、中心市街地の学校で児童数680人を維持していたところも、来年は4クラスが3クラスになるということで、そういったところの分析も必要と考える。

**【事務局】**

平坂、矢田地区の区画整理では、若い世代が入るが、同じ世代が多いので児童数が一時的に増える。そこが卒業すると一気に減ってしまう。そのあたりが、区

画整理の難しいところで、学校を新たに建てたいが、6年後にいずれ減ってしまう。そこに投資ができないのが難しい。また、市街地の小学校は、市街化区域で新しく家を建てる場所がなく、新しい世代がないので児童数が減るという問題もあり、区画整理に限らず、学校の問題も大きな課題と考えている。

**【千頭委員】**

総合戦略の修正箇所は、これでよいということでしょうか。状況分析をしながら随時、必要な見直しをしていければいい。

3 その他

企業版ふるさと納税の実績について

事務局より企業版ふるさと納税の実績に説明

**【蜂谷委員】**

知らない企業もあり、こんなところが寄附してくれたんだというのが感想。もっとPRすると、呼び水になるのではないか。

**【事務局】**

寄附をいただいた企業には、感謝状の贈呈式、HPでの公表を行っている。また、市長、市の幹部が展覧会、イベント時などに名刺サイズのふるさと納税カード（表が個人版、裏が企業版）を配付することでPRをしている。今年度から、企業版ふるさと納税版のポータルサイト「ふるさとコネクト」を活用して、寄附を集めていく。

**【千頭委員】**

今後の予定について、事務局より説明をお願いします。

**【事務局】**

今年度の審議会は本日が最後となります。今後は、施策の評価結果及び総合戦略の見直し内容について、答申書を事務局で作成し、市長へ答申させていただきます。

**【千頭委員】**

答申書の文案は、事務局と打ち合わせさせていただきます。これをもちまして、審議会を終了します。

15時00分閉会